

夏を彩る人気イベント  
第4回つべつ七まつり開催

8月2日、第4回つべつ七まつり（主催つべつ七まつり実行委員会）が、さんさん館を会場に開催されました。  
多目的広場前に設けられステージでは、開会セレモニーに続いて山鳴太鼓保存会による勇壮な和太鼓演奏、スマイルファクトリーの楽しいバルーンショーなどが繰り広げられました。また、夕方からはバンドステージや道内在住のものまねタレントをみるみさんのショーが行われ、多くの観客を楽しませました。  
実行委員会の構成団体による手作り屋台・縁日コーナーは、飲み物・食べ物を求める人々ににぎわい、来場者は夏のひとときを満喫しました。



今年も盛況でした  
ふれあい広場&友愛セール

7月27日、町民会館で高齢者や障がい者の社会参加と地域住民とのふれあいを目的とした「第23回つべつふれあい広場」（津別町社会福祉協議会主催）と津別更生保護女性会による「第41回友愛セール」が開催されました。  
会場前には焼き鳥や焼きそばなどの屋台が並び、館内では歌や踊りの愛好サークルによるふれあいステージや小物づくり体験コーナーなど多彩な催しが用意されました。当日はあいにくの雨模様でしたが、今年も多くの町民でにぎわいました。



サークルによるふれあいステージや小物づくり体験コーナーなど多彩な催しが用意されました。当日はあいにくの雨模様でしたが、今年も多くの町民でにぎわいました。

夏の宵をにぎやかに  
つべつ納涼盆おどり大会開催

8月15日、津別町130年記念・つべつ納涼盆おどり大会（主催・津別観光協会、つべつ納涼盆おどり大会実行委員会）が津別神社境内で開催されました。  
第一部では、子供盆おどりとアメリカン盆ダンスに続いて恒例のカキ氷早食い大会が行われ、小学校低学年から大人の部まで、各ブロックで熱戦を繰り広げました。大人の部には、合宿で滞在中の筑波大学ラグビー部の選手たちも参加し、観衆から盛んな声援が送られていました。

開会セレモニーに続いて行われた第二部では、大人盆おどり、仮装盆おどりコンテストが行われ、工夫を凝らしたユニークな衣装を身につけた踊り手たちが、会場の雰囲気盛り上げました。



カキ氷早食い大会



仮装した参加者

ttw nics

まちのわだい

全日本ジュニアトランポリン選手権大会  
出場選手が大会の結果報告

第42回全日本ジュニアトランポリン競技選手権大会に出場した、津別トランポリンスポーツ少年団の選手たちが、8月19日、結果報告のため町長室を訪れました。

7月31日から8月3日まで札幌市で開催された同大会には、津別から道予選を突破した6選手が出場。全国のレベルは高く、残念ながら入賞はなりませんでしたが、自己ベストスコアを出す選手もいるなど、次回への期待が膨らむ大会となりました。



(写真前列右から) 笹本梨真さん(津中2年)、乃村朋紀花さん(津小5年)、兼平航志くん(津小5年)、加藤瑠菜さん(津小5年)、石井椋くん(津中3年)、石井葵良さん(津中2年)は都合により欠席。

津別病院からのお知らせ  
患者の皆さまへ

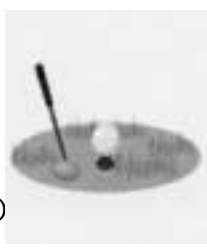
9月16日(火)から、病院内を土足のままご利用いただけます(歯科を除く)。ご不明な点は受付までお申し出ください。  
津別病院 事務部

介護の安心福祉用具フェア開催

日時 9月20日(土) 午前10時~午後4時  
会場 津別町多目的活動センター(さんさん館)  
福祉用具機器を見たり触ったりして、福祉用具の効果的な活用と正しい使い方を体感してみませんか。  
介護教室(①10:30~11:30、②13:30~14:30)も開催します。  
問い合わせ先  
保健福祉課介護福祉グループ介護保険担当  
☎76-2151(内線230)

町民防火パークゴルフ大会  
参加者募集!

日程 10月19日(日) 小雨決行  
受付時間 午前8時15分~8時45分  
開会式 午前9時  
会場 豊永ふれあい公園  
パークゴルフ場  
対象者 津別町民の方(学生は除く)  
申込締切 10月5日(日)まで  
申込方法 次の場所に申込用紙を用意します。必要事項を記入の上、投入箱に投函してください。  
①ふれあい公園パークゴルフ場管理棟  
②津別消防署  
競技内容 ふれあい公園パークゴルフ場管理棟、津別消防署に競技内容等の詳細を掲示します。  
問い合わせ先  
津別消防署 ☎76-2189



地域おこし協力隊員が津別町に来て学んだこと、感じたことをつづります。

地域おこし協力隊の「思い」を日記

10月10日  
アヤメの実

ハスオーラ

妻と息子の大地君と一緒に、津別で将来宿を経営する夢を見ている。中国内モンゴル出身。

先日、近所の庭で草引きを手伝いに行った時のことです。そこでも懐かしい植物を目にしました。アヤメです。アヤメといえば日本人の方はみんな承知の通り菖蒲(シヨウブ)です。5月の節句にお風呂に葉茎を入れたり、花を飾ったりしてよく使われる、男の子の日のおめでたい植物であります。

ところが、一瞬私の頭には別のことが浮かび上がりました。生まれ育った童年時代のモンゴルの景色でした。モンゴルでも、同じ植物があります。春先になると南の暖かい風がやって来て、野原中にアヤメの青い花が咲き始めます。きれいな花が咲いていて子どもたちが走り回っていることを思い出すと懐かしくてたまりません。アヤメの花は春一番に咲く花でもあり、やと春がやってきたというメッセージにな

るのです。アヤメは丈夫な茎を伸ばして群生して生え、厳しい環境にもたくましく育ちます。春になると花が咲き、夏には茎を伸ばし養分を蓄え、秋になると種が実り、寒い冬を越すために根を深く張ります。小さい時、お父さんがアヤメの葉(茎)を使って鈴を編んでくれます。楕円の丸い形の小籠を作って中に石玉を入れてチャリチャリと鳴らして遊んでいました。

今はアヤメが種を実っています。また種を土に落とし、来年には新芽を生え、きっときれいな花が咲くでしょう。

私は去年の10月に津別に引っ越してきました。あと一か月でちょうど一年になります。地域おこし協力隊の隊員たちと一緒に将来に向けて頑張っています。きっといつか自分たちの夢を叶え、アヤメが花咲くように地域の発展に貢献するでしょう。